とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	ふたば保育園
日時	2024.9.25　9. 26　10. 1

1. 活動テーマ

〇テーマ

2歳児…感触遊び（砂、泥遊び）

〇テーマ設定理由

・水や砂など、感触遊びに興味を持ち、楽しく遊ぶ子ども達の姿を見て、感触遊びにテーマを決めた。

・泥遊びを通して土や水に触れることで、自然に対する興味や親しみを持つ。

・川や山を作ったり、ごっこ遊びをしたり、友達や保育者と一緒に感触遊びを行なうことで、協調性、創造力、想像力を育む。

2. 活動スケジュール

・砂遊び…2024.9.25　1歳児7名、2歳児8名、計15名参加。
広くなった砂場で伸び伸びと遊ぶ。

・砂・泥遊び…2024.9.26　2歳児8名参加。
水や砂に触れて感触を楽しむ。

・砂・泥遊び…2024.10.1　1歳児8名、2歳児8名、計16名参加。
砂や泥の感触を感じ、変化に気が付く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・玩具（シャベル、バケツ、トンネル、コップ）

・シャワーやホースで水を流す。

・たらいに水を溜めておく。

4. 実践

〇活動内容

園内の砂場で行なう。

1回目は砂遊びを行ない、道具を使ってアイス屋さんやジュース屋さんなどのごっこ遊びを行なった。遊びの中でコミュニケーションが生まれた。

2回目、3回目は泥遊びを行ない、山や川、池などを作って遊んだ。どうしたら水が流れるかなど、創意工夫する姿が見られた。

〇活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり

・スコップやバケツを使って砂を掘ったり、運んだりする

・砂を手で握って、さらさらの感触を感触や固める感触を楽しむ

保育者「何を作ろうか？」

子ども「アイスクリーム作ろうよ」「ケーキも作ろう！」

・ホースを使って水を流してみる

　夢中になって泥を手や足で触り、感触を楽しむ

保育者「泥を触ってみるとどんな感じ？」

子ども「冷たくて気持ちいいね」「どろどろしてるね」

保育者「川を作ろうか」

子ども「もっと長くしよう」「もう一回水を流そう」

保育者「池ができたよ」

・時間が経ち水がなくなると

子ども「あれ？水がなくなっちゃったね」「もう一回作ろう」

5. 振り返りによって得た保育者の気づき

最初は泥の中に入るのを躊躇う子や、手足が汚れるのを嫌がる子もいたが、友達が楽しんで遊んでいる姿を見てすぐに遊び出した。川や池を作るのに、子どもたちの中で何となく役割分担が生まれ、道具を譲り合うなどコミュニケーションを図りながら遊ぶ姿が見られた。

みんなで山や川、池などを協力しながら作り上げることで達成感も感じていた。感触遊びを通して子どもたちの思いがけない言葉や想像力に驚かされた。